

会議録

会議の名称	西東京市立学校給食運営審議会（第2回）
開催日時	令和2年1月17日（金）午前10時00分から午後1時30分
開催場所	田無第二中学校 会議室等
出席者	（委員）高野会長、中村副会長、久山委員、高橋委員、伊藤委員、上田委員、佐々木委員、高橋委員、伊藤委員、戸城委員、山崎委員、笹月委員 （欠席）新出委員、石井委員、高見澤委員、喜多見委員 （事務局）大谷学校運営課長、近藤、越川
議題等	<議題> 1 中学校給食調理及び配送の見学(谷戸小学校) 2 中学校給食の試食及び見学(田無第二中学校)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
出席委員12名、委員数16名で過半数に達しているため、本審議会の成立を確認	
<p>議題1 中学校給食調理及び配送の見学(谷戸小学校) 10:15～10:40</p> <p>(1) 調理の様子を室外から見学</p> <p>(2) 田無第二中学校に配送するトラックへの荷出し、積み込み状況の見学</p> <p>議題2 中学校給食の試食及び見学(田無第二中学校) 11:50～13:30</p> <p>(1) 到着した配送トラック及び配膳室見学</p> <p>(2) 給食ができるまでのVTR(田無第二中学校制作) VTRの視聴及び谷戸小学校栄養士より給食室の説明や調理工程、衛生管理等説明</p> <p>(3) 中学校エレベーター及び給食コンテナ見学</p> <p>(4) 給食試食 配送を受けた中学校用の給食を委員自ら配膳等を行い、試食 谷戸小栄養士より、本日の献立内容の説明</p> <p>(5) 生徒の喫食状況見学 委員が校内に分散し、生徒の給食の配膳・喫食・片付け等の状況を見学</p> <p>(6) まとめ 会議室に戻り、見学全般・試食を経ての感想等で総括</p> <p>(主な意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者委員からの意見 ○委員 正直なところ、親子給食というのは無駄が多いと思った。小学校から中学校へ運んできて、中学校で待機していて、効率が悪いと感じた。自校式の方が効率はいいのではないかと思う。給食はとても美味しかった。 ○委員 すごく大変な作業を朝の6時半ごろからされていて、親身に対応していただいていると感じた。小・中の場所は近いが、天候にも左右される作業であり、給食室のないことの不便さによってこのような形になっていると思うので、どのようにしたら良いのか具体的な案はまだないが、どうか考えてもらいたいということを感じた。 	

私の子どもも中学校でお世話になるので、今日は貴重な体験であった。

- 委員 まず谷戸小で給食を作っているところを見て、丁寧にしっかり調理しているという印象を受けた。先ほどのVTRで、残菜があれだけ残って返ってくるのをみると切ない思いもするので、できるだけ減らせるような方法を考えていければと思う。
- 委員 私は、何回か子どもの通う学校での試食会などに参加したことがあったが、今日のように間近で調理の様子や運ぶ様子を見たことがなかったため、今日はとても貴重な経験ができた。改めて調理員や給食に関わる方たちに感謝したいと思ったし、子ども達にも、これだけのことが行われているということ伝えていきたいと思った。調理法も工夫されていて、家庭でも参考になる部分もあった。また給食がとても温かく、味の強弱もついていてバランスが良く、家庭よりも美味しいのではないのかと思うくらいであった。家庭で献立を考えるのも大変であるのに、一か月分を工夫して組んでいるのがすごいと感じた。生徒達が楽しそうに食べているところを見られるのも、沢山の方の苦労あってのことだと思った。
- 委員 育ちが関西なので、今日の献立は懐かしく感じた。谷戸小の調理場から、二中に運搬するまでを見学して、栄養士が考えたバランスの取れたメニューをロスがなく、調理動線までしっかり定められていて、とても効率の取れた良い文化だと思った。食べ残し等の問題はあるのかもしれないが、今後世界に見習ってほしいシステムだと感じた。
 - ・学校委員の意見
- 委員 日頃から、給食に関わる方々の苦労を身近で見て感じている。本日改めて一連の流れを見学して、改めて感謝して食べなければいけないなと感じた。私の勤務校は、市内でも一番調理数が多い親子校の組み合わせであるため、朝とても早く動いていただいて、本当に苦労を掛けている。これからも日々感謝の気持ちをもって給食を食べていきたい。
- 委員 実際に日々給食を食べているが、コンテナが運ばれてくる様子を見たのは初めてであった。生徒も、いつも「美味しい」と給食を食べているが、実際に調理している様子等をなかなか見る機会がないので、給食委員会などを利用して、今日見せていただいたような映像を見せたいと感じた。残菜の話も、数値としてはわかっているが実際に目で見るとイメージが付きやすいと思うので、併せて話していけたら良いと思った。
- 委員 私も親子給食校で勤務しているが、この時間帯はいつも忙しい時間帯なので他の学校の様子を見る機会がなかったため、本日は良い機会となった。各校ごとに調理員数や設備等が少しずつ違うので、やり方も変わってくるといところもわかり、勉強になった。たくさんの方に協力してもらいながら、今後も安全でおいしい給食作りに励んでいきたいと改めて思った。
- 委員 今日の献立を、皆さん美味しいと言って食べてくださってありがたかった。献立を立てる時には、郷土料理や、大人になって国際的に仕事をしていく子ども達であるので、外国の料理も含めて考えている。食の基本は家庭なので、家庭で食べ慣れないものは、ひと箸めが進みづらく、クラスでの声掛けによって変わってくるところもあると感じている。その辺は栄養士が教員としっかりコミュニケーションを取って、指導していかないといけないが、最近は若い年代の教員も増え、昔の出来事などを伝えることが難しい部分もあり、経験のある教員に協力してもらっていろいろと伝えていっている。子ども達の家庭も様々な形態があり、二世帯で生活する子どもと単世帯の子どもでは食の経験も違ってきている。その中で、給食を通して経験をして、ある程度の料理は美味しく食べることができるようにして、小学校から送り出したいと考えている。本日も勤務校に帰ったら、残菜の様子などを調理員と確認して、次の献立に活かしていきたい。
- 副会長 本日の見学中もそうであったが、給食の調理員は夏は暑く、冬は寒い中で、

いつも安全に配慮しながら調理してくれている。栄養士も様々なところに気を配りながら献立を考えてくれており、本当に感謝である。保護者委員の皆さんには、普段はこのようなところを見る機会がなかったと思うので、身近な保護者に伝えていただくと良いし、子ども達にも、どのような配慮があって、毎日美味しい給食が食べられているか、ということ伝えてほしい。本日は中学生の喫食も見学したが、中学生となると、落ち着いて食べていて感心した。小学生だと、おしゃべりをしていて食べていないという子も見られる。給食指導も、小学校で育てて、中学校へ進学していくので、小・中学校の9年間で考えていけたらと思う。本日の献立は、阪神淡路大震災に関連したものであったが、ただ食べるだけでなく、「食育」という教育的意義があるので、そういった中で、しっかり食べて元気な体を作ると同時に、様々なことを感じ、考えていけるように取り組んでいけたらと思っている。

- 会長 私が教員をしていた時に考えていたのは「子ども達に給食をできるだけ食べてほしい」ということであった。ところが、現在では新聞で、「もぐもぐタイム」について、どうなのかという意見が出ていたりする。きちんと給食を食べるには、やはり時間の確保が必要だと感じていて、本日はそれを心にとめながら見学していた。生徒たちを見ていて気づいたのは、配膳の仕方を工夫しているということで、私たちはトレーを持って並び、料理を受け取っていたが、早いクラスは、皆着席した状態で、給食当番が配膳して回っていた。配膳の方法を統一していくことで、時間のロスを少なくできるのではないのかと感じた。残菜については、衛生面や指導面で昔のようにはいかない面もあり、そのように解決していくかは難しい問題である。今日は小学校の栄養士委員に苦勞をかけた。給食に関係して働いてくれている方がどれほど多いのか、ということを感じた日であった。本日は良い経験となった。

次回の予定について、事務局から報告してほしい。

- 事務局 次回は、前回の審議会で話題に上がった中学校給食のアンケートについて、次回から質問内容等について審議したいと考えている。過去三回アンケートを取っているが、中学校給食が始まったばかりに作成した質問で、「中学校給食が始まって良かったか」ということが中心であった。中学校給食が始まり、約10年になり、内容も少し変更していきたいと考えている。質問案については、事務局で用意をしたい。

日程については、令和2年度の5月中旬ごろを予定している。詳細は別途通知する。

閉会

- 会長 本日の会議を散会する。